真岡市行政評価システム

評価対象年度　令和7　年度　　**事務事業評価マネージメントシート**　　作成日　令和8年3月13日

事務事業名	乳児紙おむつ及び乳児紙おむつ用ごみ袋購入助成券支給事業		担当課・係	健康福祉部　こども家庭課　子育て支援係
政策名　No	2	「笑顔づくり」～安心と元気アップ！～	関連するSDGs･DX	
施策名　No	1	子育て支援の充実		

成果指標	名　称	単　位	初年度からの実績値の比較 R7	R8	R9	R10	R11	目標値 R11
	合計特殊出生率	―	1.09					1.54
	この地域で子育てをしたいと思う親の割合	%	98.5					維持

事業内容

新しい市民の出生を祝福し、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ることを目的とし、子育てに必要な乳児紙おむつ及び乳児紙おむつ用ごみ袋購入助成券を支給する。
【対象者】本市に住所を有する2歳未満の乳児を持つ保護者（本市に住所を有する者に限る）
【助成額】出生から1歳未満　紙おむつ助成券24,000円分/年、ごみ袋助成券　1,000円/年
1歳以上2歳未満　紙おむつ助成券12,000円分/年、ごみ袋助成券　1,000円/年

・平成27年3月　結婚、妊娠・出産、子育ての切れ目ない支援の充実を図るとともに、地域や社会が子育てを支援する環境づくりに取り組むため「真岡市乳児紙おむつ購入助成券支給事業実施要綱」を施行。※平成26年4月1日から平成27年3月31日生まれの乳児（特例支給対象児）の保護者については、経過措置有り
・平成28年4月　支給対象児を満2歳に満たない乳児に拡充
・令和2年4月　　年度を越えて1歳または2歳の誕生月の前月分までを交付
・令和4年4月　　2年目分の助成券の交付は、簡易書留で送付することとした。
・令和5年4月　　「紙おむつ用ごみ袋購入助成券」の配布を開始　※オンリーワン事業として、紙おむつ助成券及びゴミ袋助成券をセットで支給している。

前年度の課題（Check）

紙おむつ及び紙おむつ用ごみ袋購入助成券を遺漏なく交付し、子育て世帯の経済的負担の軽減を図っていく必要がある。

7年度振り返り

【1】実績（Do）７年度に実施した事業
・「紙おむつ購入助成券」の支給（1歳最大未満24,000円分、1歳以上2歳未満最大12,000円分）
・「紙おむつ用ごみ袋購入助成券」の支給（1歳未満最大1,000円分、1歳以上2歳未満最大1,000円分）

【2】結果と課題（Check）
出産前後の経済的支援として現金を支給しているが、令和5年からは国においても同時期に妊婦支援給付金10万円を支給している。
また、令和9年度以降には国が出産費用を無償化とする方針を示しており、国の動向を見ながら市独自の子育て支援事業を見直していく必要がある。
1歳を迎える対象者に対しておむつ給付券を簡易書留で発送しているため、値上がりした通信運搬費についても対応していく必要がある。

今後の方向性と具体策

□ 廃止　□ 休止　□ 目的絞り込み　□ 目的拡充　■ 事業統廃合　■ 事業のやり方改善　□ 予算削減　□ 予算増大　□ 現状維持(従来通りで特に改革改善しない)

【3】具体的な改善策(Action➡Plan)　課題に記載された内容の解決に向けた取り組みについて、**いつ、何を、どのように実施し解決に導くのかを具体的に**記載してください。

(1) ただちに取り組むべきこと
・国で実施予定の出産費用無償化の制度を見極めながら、市独自で実施している子育て支援事業(出産準備手当支給事業、赤ちゃん誕生祝金支給事業、チャイルドシート等購入費補助制度、乳児紙おむつ購入助成券支給事業)について、令和8年度中に見直しの方針を決定する。

(2) 長期的な計画で検討すること
子どもの妊娠・出産・育児に対して効果的な支援を継続していくこと